

年次報告

2020-21年度

国際ロータリー
ロータリー財団



ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION



rotary.org

159-JA—(1121)



2020-21年度国際ロータリー理事会

会長

ホルガー・クナーク (ドイツ)

会長エレクト

シェカール・メータ (インド)

副会長

ジョリータ・ソラーリ (米国)

財務長

バラート S. パンディア (インド)

RI理事

ジェームス・アンソニー ”トニー” ブラック
(スコットランド)

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ
(ブラジル)

ビルピ・ホンカラ (フィンランド)

スーザン C. ハウ (米国)

ヤン・ルーカス・ケット (オランダ)

アイカテリニ・コサリ・パパディミトリウ (ギリシャ)

ピーター R. カイル (米国)

フロイド・ランシア (米国)

ロジャー・ロール (フランス)

チーテン “サージョン” リョウ (台湾)

クマール・サンヴィ (インド)

辰野 克彦 (日本)

ステファニー A. アーチック (米国)

バレリー K. ウェイファー (カナダ)

チャンゴン・イム (韓国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)

2020-21年度ロータリー財団管理委員会

管理委員長

K.R. ラビンドラン (スリランカ)

管理委員長エレクト

ジョン F. ジャーム (米国)

副管理委員長

マイケル F. ウェブ (英国)

財団管理委員

ホルヘ・アウフランク (グアテマラ)

ブレンダ・クレシー (米国)

マルセロ・ディミトリオ・ハイク (ブラジル)

パー・ホイエン (デンマーク)

シュウ・ミン・リン (台湾)

ギータ K. マネク (ケニア)

アジズ・メモン (パキスタン)

バリー・ラシン (バハマ)

イアン H.S. ライズリー (オーストラリア)

ディーン・ロース (カナダ)

グラムフセイン A. バハンバティ (インド)

サンクー・ユン (韓国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)



100% 消費者使用後の再生紙を使用
FSC® 認定
Green Seal™ 認定
Green-e 認定
塩素無使用
大豆原料インク使用

リーダーからのメッセージ



今年度、ロータリーは、ウイルスの世界的流行、自然災害、食糧不安など、激動といえる状況に直面しました。しかし、これを一つの機会として、互いを大切に、一人ひとりがこの変化の時代に適応し、受け入れ、人びとのために持続的な変化をもたらすことができました。私たちが直面している課題は今も続いており、今後も適応していく必要があるでしょう。しかし、このような中でもロータリーが縮小しなかったことを私たちは誇りとすることができます。私たちは、困難な時代に行動を起こす人としての役割を受け入れました。

これからお読みいただくように、私たちはこの1年で目覚ましい成功を収めました。アフリカ地域が野生型ポリオのない地域としてWHOによって宣言されたこと、最初の大規模プログラム補助金の受領対象として「Partners for a Malaria-Free Zambia (マラリアのないザンビアのためのパートナー)」が実施されたこと、新たな重点分野として「環境」が追加されたこと、そしてロータリー平和センター専門修了証取得プログラムを再構築するとともに、アフリカ初のロータリー平和センターに学生を迎え入れたことなど、ロータリーは大胆に行動してきました。2020-21年度にはロータリー財団に4億4,090万ドル以上の寄付が寄せられ、ファンドレイジングにおける記録を残すことができました。しかし、ニュースの見出しでは語られない重要なことがあります。それは、私たちが互いに手を差し伸べ、グローバルな友情のネットワークとしてロータリーを定義する思いやりを世界各地で示したことです。

来る年度において、ロータリーの行動計画に基づいて行動していくことで、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という優先事項を推し進めることができます。今日の世界は、コロナ禍を終息させ、意義あるかたちで互いのつながりを取り戻し、世界の安定と平和の基盤構築に必要な信頼関係を再び築いていくための支援を必要としています。

今こそ私たちが行動するときです。ロータリーの力を最大に引き出していきましょう

2020-21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

2020-21年度
ロータリー財団管理委員長
K.R. ラビンドラン

1年を振り返って

未来のために財団を強化する



8月、世界保健機関（WHO）が、アフリカ全域（47カ国）における野生型ポリオウイルスの根絶を発表しました。この公衆衛生上の達成により、世界からポリオをなくすことが可能であることが示されました。ロータリーは、それを実現します。



ホルガー・クナーCRI会長は、ロータリアンとローターアクターによる協力関係を強調、奨励するために、三つのバーチャル会長主催会議（ブラジル、ナイジェリア、米国）を開催しました。出席者は、次世代の会員のための未来を確保する戦略について話し合いました。

2020年7月にロータリーの新年度が始まったとき、新型コロナの世界的流行が始まってから既に4カ月が経過していました。周囲の環境は変わり、それに合わせてロータリーも進化してきました。

コロナ禍により、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という取り組みを加速させることがいかに重要であるかが明らかになりました。

地域社会／コミュニティが必要としているつながりを築き、奉仕とアドボカシーを行うことで、ロータリー会員がもたらした変化の一部をご紹介します。



以前からロータリーの重要な活動目的であった「環境」が正式に重点分野となりました。ロータリー会員は、この分野を指定した寄付をしたり、気候変動や環境悪化の影響に対応するためのグローバル補助金に申請したりできます。



ロータリーは、「Partners for a Malaria-Free Zambia」（マラリアのないザンビアのためのパートナー）プログラムに、最初の大規模プログラム補助金200万ドルを授与しました。成果が実証されているこのプログラムは、今後3年半の間に10の対象地域でマラリアを削減し、130万人のザンビア人に医療を提供することを目指しています。このザンビアでのプログラムから得られた教訓は、世界中のクラブや地区と共有され、さらなるインパクトの強化に生かされます。

世界を変える行動人

4月7日の世界保健デーに、国内および世界で保健の改善に貢献している6名の会員を「世界を変える行動人：保健向上の推進者」として表彰しました。これらの会員は、エチオピア、インド、ニュージーランド、スリランカ、米国のクラブに所属しています。



ロータリークラブをベトナムで復帰させようと、ドイツ、タイ、イギリスのロータリアンが地元地域社会の人びとと協力しました。その結果、6月にサイゴン・ロータリークラブと、サイゴン・インターナショナル・ロータリークラブが加盟しました。



ロータリー会員は、ポリオとの闘いにおける数十年の経験を生かして、新型コロナウイルスに対する地元保健当局の取り組みを支援しました。会員は、診療所でのボランティア活動、誤った情報への対応、ウイルスの拡散防止に貢献し、ワクチンへの公平かつ平等なアクセスを提唱しました。



マケレレ大学（ウガンダ、カンパラ）のロータリー平和センターで、平和フェロー第1期生が、平和構築、紛争解決、リーダーシップ開発を学ぶ1年間の専門能力開発修了証取得プログラムを開始しました。タイのバンコクにあるチュラロンコーン大学の平和センターでも、これまでの3カ月間のプログラムから1年間のプログラムへと変更しています。



ロータリーは、会員やプログラム参加者のための学習機会を創出するため、パートナー団体と協力しています。トーストマスターズインターナショナルでは、スピーチの作成やパブリックスピーキングなどのスキルを磨くために、リーダーシップやコミュニケーションのスキルに関する8つのコースを作りました。また、National Youth Leadership Council（青少年による奉仕学習分野の専門団体）は、青少年が地域社会の課題に対応するための方法を学べる「奉仕学習」のラーニングコースを提供しています。これは、未来のリーダーたちによる奉仕活動への末永いコミットメントを促すものです。



ロータリーにおいて「多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）を促進するために、包括性、多様なコミュニティとつながりを築く方法、ロータリーにおける少数グループの会員の経験などのトピックを取り上げたウェビナーシリーズを実施しました。また、会員アンケートを実施し、ロータリーに対する認識や経験について調査しました。この結果をもとに、DEIへの取り組みをロータリーのあらゆる活動に反映させるための計画を作成します。



RI理事会は、ロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン」(DEI) タスクフォースからの助言を受け、DEIへのコミットメントを強調しました。



オットー＆フラン・ウォルター財団（Otto and Fran Walter Foundation）が、中東または北アフリカに平和構築および開発に焦点を置いたロータリー平和センターを新設するため、ロータリー財団に1550万ドルの寄付を誓約しました。

より大きなインパクト をもたらす

変革の遺産

革新的なチェンジメーカー（変革推進者）にパートナーとなってもらうため、私たちは、インパクトを定義し測定するための、証拠に基づくプログラムを実施しています。

データに基づいた判断により、プロジェクトとその成果を向上させ、より効果的な変化を生み出し、さらに規模を拡大してほかの地域社会に応用することができます。



Partners for a Malaria-Free Zambia (マラリアのないザンビアのためのパートナー) は、大規模プログラム補助金200万ドルの最初の受領者となりました。

変革の遺産

Partners for a Malaria-Free Zambia (マラリアのないザンビアのためのパートナー) は、大規模プログラム補助金の最初の受領者となりました。大規模プログラム補助金では、ロータリークラブや地区が主導し、成果が実証されている優れた奉仕プログラムを拡大するために、毎年200万ドルを提供します。

ビル&メリンダ・ゲイツ財団とワールド・ビジョンU.S.は、Partners for a Malaria-Free Zambiaのインパクトを高め、同国の保健システムを強化するために、それぞれ200万ドルの追加資金を提供します。

マラリアは予防可能な疾病ですが、ザンビアでは、特に乳幼児や妊産婦の疾病や死亡の主な原因となっています。米国ワシントン州のフェデラルウェイ・ロータリークラブは、ザンビアやその他の国のパートナーやロータリークラブと協力して、10年以上にわたりマラリア対策に取り組み、これまでに何万枚もの蚊帳、治療薬、検査キットなどを配布してきました。また、ロータリー財団のグローバル補助金を利用して、1,500人以上のコミュニティ・ヘルスワーカーを育成・派遣しており、これが農村部でのマラリア抑制やその他の健康上の課題への対応において効果を発揮しています。Partners for a Malaria-Free Zambiaは、現在のパートナーシップとこれまでの成果を土台として、さらに多くの救命治療を地域社会で実施していきます。

このプログラムは、ザンビアの2つの州にある10の対象地区でマラリア患者を減らすことを目的としています。これにより、380人の医療施設スタッフと2,500人以上のコミュニティ・ヘルスワーカーが新たに養成され、130万人を超える人びとがマラリアの診断と治療を受けられるようになります。ヘルスワーカーには、迅速に診断することができる検査キット、抗マラリア薬、教材などが提供されます。また、ヘルスワーカーは自転車と携帯電話を持っているので、遠く離れた地域社会にもアクセスでき、マラリアのデータを全国の医療システムで共有することができます。

クラブが地域社会でのインパクトを向上させるための方法：

- 地域社会調査に基づいて、最も重要な課題やプロジェクトに重点を置く
- 各プロジェクトの前後でデータを収集し、そのデータを基に改善点を認識する
- 測定可能な成果と、目的に対する長期的なコミットメントを示すストーリーを紹介する



ロータリー財団： 変化をもたらす

4億
4090万ドル

前向きで持続的な変化をもたらすプログラムを支援するために、ロータリー財団に寄せられたご寄付



アカウントビリティと透明性を確保する財団の取り組みが評価され、チャリティナビゲーターから13年連続で最高評価を受ける

530

ロータリー会員が奉仕プロジェクトを計画し、ロータリー財団の補助金を申請できるよう専門スキル・知識を提供した、ロータリー財団専門家グループのメンバー

2500 万ドル以上

地域社会の差し迫ったニーズに応える、新型コロナ関連の奉仕プロジェクトのために提供された補助金

20%

ロータリー財団のグローバル補助金を活用して、参加者の基盤を広げ、インパクトを高めるというロータリーの取り組みに貢献したロータリークラブの割合



117人

平和構築のリーダーとなるためにロータリー平和センターで学んだロータリー平和フェロー



寄付する理由



デル W.&ロクサーヌ E.
ペイターソン

カナダ

アーチ・克蘭フ・ソサエティ
(管理委員会サークル)

私たちがロータリー財団に寄付することで、世界中の人たちの識字率が向上することを願っています。識字は成功するためのカギです。



ミレイユ・メルリエール
フランス

遺贈友の会 (レベル6)

チャリティナビゲーターから最も優れた慈善団体の一つとして認められているロータリー財団に寄付できることを誇りに思い、また光栄に思います。子どもたちがより良い生活を送れるようにするための教育に貢献できることを嬉しく思います。支援を行うことで真のロータリアンになったような気がして、私も平和な気持ちになります。



チェンテ&シュウェン・
ツァイ

台湾

アーチ・克蘭フ・ソサエティ
管理委員長サークル

盤石なロータリー財団があれば、私たちは世界で良いことをし、ロータリーの使命を前進させることができます。共に行動することで、長期的なインパクトを生み出し、機会を創出し、奉仕を通じて人びとの人生を変えるいきたいと感じています。



カルロス&マーサ・
サンドバル

メキシコ

アーチ・克蘭フ・ソサエティ
管理委員会プラチナサークル

明日のことを考えると、行動すべき時は今日だということがわかります。「魚を与えるのではなく、釣り方を教える」という言葉があるように、持続可能でインパクトのあるロータリー・プロジェクトを実施することが大切です。



オットー&フラン・
ウォルター財団

米国

アーチ・克蘭フ・ソサエティ
財団サークル

私たちは、紛争解決に取り組む新世代の専門家にリソースを提供し、平和な未来を創造するロータリーの助けができて誇りに思っています。

Thomas V. Nash氏による肖像画を基にしたウォルターご夫妻のイラストレーション

行動を起こす人は、どんな背景をもつ人のグループにも、どの地域社会にも存在します。彼らはロータリー会員、あるいは奉仕と友情への情熱を共にする地域のリーダーかもしれません。

私たちは、さまざまな経験、文化、考え方をもち人びとを受け入れ、参加してもらうことで、良いことを行うロータリーの能力を高めます。

参加者の基盤を広げる

共に、より多くのことを



クラブや地域社会で協力することで、ロータリーはさらに強化されます。

共に、より多くのことを

第5450地区（米国コロラド州）と地元団体のEasterseals Coloradoは、身体障害のある10代の若者を対象としたRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）を共同で開発しました。参加者は、1週間のサマーキャンプを通じて、訓練を受けた医療スタッフやカウンセラーによるサポートを受けながら、歓迎された包括的な環境で楽しく過ごすことができます。また、チームワーク、問題解決、物理的な課題を克服するための練習を通じて友人を作り、自信を身に付けます。多くの参加者は翌年もジュニアカウンセラーとして再び参加し、リーダーシップスキルをさらに磨き、ほかの参加者も忘れられない経験ができるようサポートしています。このプログラムは、卓越したRYLA行事を表彰する「RYLAリーダー賞」において準優秀プログラムに選ばれました。

ブラジルでは、サンパウロ・リベルダージ・ロータリークラブ（サンパウロ州）、富士宮ロータリークラブ（静岡県）、Dorina Nowill Foundation for the Blind（盲人のための財団）からの支援によって、視覚障害のある子どもたちがより良い教育を受けられるようになります。ロータリー財団のグローバル補助金により、169名の教師が、より良い学習環境づくり、教材の適応、点字の読み方、特殊機器の扱い方などを学びました。このパートナーシップは、ブラジルでの重要な課題において役立っています。それは、教室での指導を強化し、視覚障害のある生徒がより良い教育を受けることができるよう、教育者の研修を拡大するというニーズです。

クラブが参加者の基盤を広げるための方法：

- ソーシャルメディアやクラブのウェブサイト、地元メディアを通じて、行動を起こす人としての会員のストーリーを伝える
- 新しいプロジェクトや形式で活動することを模索し、柔軟性を高めることで革新的なクラブとなる
- 地元の企業・団体と連絡を取り、新たなパートナーシップを築く
- 多様性、公平さ、インクルージョンをクラブに反映することに力を入れる



ロータリーの活動範囲



138万人

ロータリーおよびローターアクト会員



少なくとも一つのロータリークラブまたはローターアクトクラブがある国・地域

46,924

ロータリークラブおよびローターアクトクラブ

2,471

参加者の基盤拡大と会員の多様性に貢献する、新たに設立されたロータリークラブおよびローターアクトクラブ



55

ロータリーとのパートナーシップを通じて、共にインパクトを高めているパートナー団体の数



イボンヌ・クモジ・ダーコ

ガーナ

アーチ・クランフ・ソサエティ (管理委員会サークル)

ロータリー財団への寄付によって、世界中のロータリークラブによる、より大規模かつ影響力のあるプロジェクトを支援できます。これにより、多くの人生に変化をもたらし、社会に貢献できます。



ダクサム・リー & ヒョンサク・ヤン

韓国

アーチ・クランフ・ソサエティ 管理委員長サークル、遺贈友の会 (レベル1)

感謝の気持ちを表す方法として、ロータリー財団への寄付があります。困っている人に手を差し伸べるのが、行動を起こす人としての私たちの義務です。だからこそ、私たちは迷うことなく財団に寄付するのです。



アーノルド C.M.C. バストレーテ

タイ

アーチ・クランフ・ソサエティ 管理委員長サークル、遺贈友の会 (レベル4)

私はロータリーの活動を信じています。ロータリー財団への寄付は、世界にインパクトをもたらす多くの持続可能なプロジェクトを実行するために私にできる小さなレガシーです。



アイルター & スーザン・エルガーバズ

トルコ

アーチ・クランフ・ソサエティ (管理委員会サークル)

誰でも良いことをできますが、ロータリー財団を通じて良いことをすれば、何倍ものインパクトをもたらすことができます。だから私たちは財団に寄付します。より多くの支援を寄せれば、問題解決に向けた活動の幅も広がります。



寄付する理由

ロータリーの未来を確かなものにするには、すべての会員と参加者に充実した体験を提供しなければなりません。クラブは会員の要望に耳を傾け、ロータリーのビジョン、使命、価値観を大切にしながら、会員のニーズを満たせるよう変化しています。

新しいアイデアを柔軟に受け入れることで、私たちは会員や参加者は大切にされていると感じることができます。

積極的な参加を促す

会員と参加者のニーズを大切に



ロータリーは、会員や参加者がロータリーでの経験に長期的な価値を見出すことを願っています。

会員と参加者のニーズを大切に

英国では、ローターアクトのグループが、キャリアを築いて家族がいる若い社会人のニーズに応えるロータリークラブを創設しました。メイデンヘッド・ブリッジ・ロータリークラブ（英国バークシャー州）は、月に2回、日曜日にコーヒーショップで例会を開いています。形式的な進行や、ジャケット・ネクタイ等の着用もないカジュアルな例会で、子どもたちが走り回っているのを見かけることもあります。クラブ会員は、自分たちのスキルを活用できる奉仕の機会に焦点を当て、広報やブランディングにも力を入れながら、時間と職業スキルを地元団体の支援に生かしています。クラブには50名以上の会員がおり、現在も増加しています。

アブギダ・ローターアクトクラブ（エチオピア）は、安全な血液供給を維持するという地域のニーズに特化した活動を行っており、2004年に設立されて以来、四半期ごとに献血活動を行っています。開始当時、献血の協力者は30人ほどでしたが、今では500人に増えています。クラブは、エチオピア赤十字社やほかの地元ローターアクトと協力しながら、活動範囲を広げてきました。意義ある奉仕プロジェクトに注力することで、クラブは地域社会と会員にその価値を示すことができました。

ヴィリニウス・リトアニカ・インターナショナル・ロータリークラブ（リトアニア）は、世界情勢とインクルージョンを重視した柔軟なクラブを作りたいと考えた、二人のロータリアンと一人のローターアクトによって設立されました。会員の半数が女性で、しばしば男性中心になる同国のロータリーでは珍しいことです。革新に対するクラブのオープンな姿勢は、現会員と入会候補者の両方に力強いアピールとなります。

フィリピンでは、ローターアクト多地区合同情報組織が、トーストマスターズインターナショナルの第75地区と協力し、ローターアクトのスピーチスキル向上を支援しました。ローターアクト会員は、トーストマスターズのコーチの前で短いスピーチを行い、建設的なフィードバックを受けながら自信を深めていきました。この協力により、ローターアクトとトーストマスターズの会員は、互いに学び合い、ネットワークを広げることができました。

クラブが会員と参加者の経験を高めるための方法：

- 会員、参加者、地域社会がクラブに何を求めているかを問う
- クラブの慣行、文化、イメージ、会員としての体験を調査し、強みと課題を明らかにする
- リーダーとしての役割、奉仕プロジェクト、クラブ活動に全会員が参加できる新しい方法を見つける



ロータリーを通じて コミュニティとスキルを築く

93

ロータリー親睦活動グループ

60,000人以上のメンバーが、共通の職業や関心を土台として、つながりと友情を築き、変化をもたらしている

25,000人以上

共通の情熱に基づく27のロータリー行動グループを通じて、クラブがより大きなインパクトをもたらせるよう支援を行っている

16,306

リーダーシップのスキルを磨き、地域社会で奉仕している12~18歳のメンバー375,000名以上を擁するインターアクトクラブの数

11,713

4,028のスポンサークラブと協力して地元の地域社会で奉仕活動に当たっているロータリー地域社会共同隊の数

965

会員が職業的・個人的スキルを磨けるよう、20言語で提供されているラーニングセンターのコースの数



寄付する理由



ジェーン・ペニンントン

オーストラリア

メジャードナー (レベル1)、レガシー・ソサエティ (レベル1)

自分のクラブや地区内のクラブに授与された補助金を通じて、寄付のインパクトを実感しています。「世界で良いこと」を身近なところで実践できることが、財団を支援しようという私の意志につながっています。



チュンミン& フィービー・レン

香港

アーチ・クランフ・ソサエティ
管理委員長サークル

ロータリー財団は、各種プログラムと人道的プロジェクトを通じて、より良い世界に向けて活動しています。私たちは人びとに希望を与え、人びとの生活のニーズが満たされることを願っており、財団の寄付者であることを嬉しく思います。



ワトソン&マエリー・ トラバソス

ブラジル

アーチ・クランフ・ソサエティ
(管理委員会サークル)

ロータリー財団への寄付は、人への思いやりです。寄付は、私たちがどれだけ互いを必要としているか、無私の行いがどれだけほかの人の人生に変化をもたらせるか、そして、それがなぜ価値のあることなのかを教えてください。



福原有一・恵子

日本

アーチ・クランフ・ソサエティ
(管理委員会サークル)

ロータリークラブに入会し25年。お陰様で夫婦ともに多くの友人・知人を得て、趣味も多様になり、奉仕活動による充実感も含め、目に見えない財産になっています。環境問題が注目されている昨今、「環境」が新たに7つ目の重点分野になったことにも共感し、少しでも貢献できればと、目に見える形で寄与させて頂きました。

組織が成功するには、機敏に反応し、新しいアイデアを受け入れる必要があります。新型コロナウイルスの世界的流行の際、ロータリーは状況に適応して成功を収めることができることを実証しました。

伝統と、今日そして明日のニーズのバランスをとることで、将来にわたってロータリーを前進させる経験と関係が生まれます。

適応力を高める

課題を克服するために



世界各地で外出規制が出される中、ロータリーは活動を継続するための方法を見出しました。

課題を克服するために

世界各地で外出規制が出される中、ロータリーは活動を継続するための方法を見出しました。ロータリー青少年交換での海外渡航が停止される中、バーチャル交換によって若者たちは遠く離れた地域の新しい友人と出会い、協力し合うことができました。また、ミュンヘン（ドイツ）でオクトーバーフェストが中止になった際は、ビール愛好家のロータリー親睦活動グループがバーチャル形式で24時間世界ビール祭りを開催しました。ニュージーランド時間の夕方5時に、500人以上の参加者がグラスを掲げ、「水と衛生のためのロータリー行動グループ」のための募金活動を行いました。

コロンボ・リコネクション・ロータリークラブ（スリランカ）は、コロナ禍に奉仕活動のアプローチを変えただけでなく、プログラム参加者と協力して活動の基盤を広げました。また、スリランカのインターアクターは、ソーシャルメディアのネットワークを駆使して、マスクの着用、手洗い、物理的距離の取り方などについて人びとに呼びかけました。2020年5月に国のロックダウン規制が解除されると、インターアクターは学校が再開できるように新型コロナの安全プロトコル導入を支援しました。

クラブが適応力を高めるための方法：

- 新しいアイデアや活動に取り組むための資金を確保する
- 新しいスケジュール、形式、場所での例会を試してみる
- クラブのガバナンス構造を再評価し、よりインクルーシブで効果的なものにする
- 地域社会の人びとから意見を集めたり、プロジェクトに招待したりして、新しい観点を獲得





**ジョニー・ゴウ・ユ&
ベロニカ・ホー**

フィリピン
アーチ・クランフ・ソサエティ
管理委員長サークル
ロータリーを通じて人びとの
生活が改善され、ポリオが根
絶されることで、大きな前進
が見られることを期待してい
ます。



**ニラブ・ニランジャン&
デビナ・シャア**

インド
アーチ・クランフ・ソサエティ
(管理委員会サークル)
私たちは、持続可能かつ測
定可能な、より大きく、大胆
で、より充実したプロジェク
トを期待しており、それは財
団を通じて可能となります。



**デイビッド・ギブソン・
ムーア**

アラブ首長国連邦
アーチ・クランフ・ソサエティ
(管理委員会サークル)
私がロータリー財団の未来
を考えると、世界理解が飛
躍的に深まり、人びとの生活
に変化をもたらされることを
期待しています。



**チャック&ベッキー・
メイソン**

米国
アーチ・クランフ・ソサエティ
管理委員長サークル、レガシ
ー・ソサエティ
世界からポリオが完全に
なくなったとき、ロータ
リーはさらに活力を得て
ほかの困難な問題に
取り組むことができると信じ
ています。



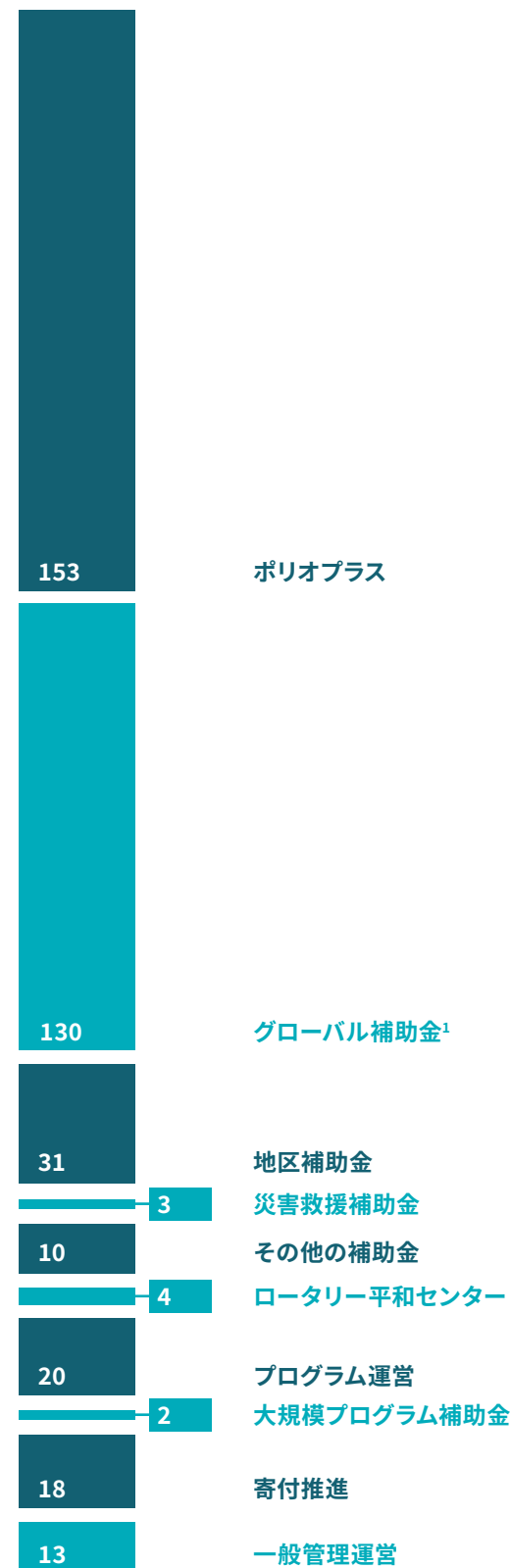
寄付する理由

財務

ほぼすべての国で活動するロータリーは、
慎重に資金管理を行っています。

**ロータリー財団の支出：
3億8400万ドル**

プログラム補助金と運営費92%



**国際ロータリー
収支報告**

2020会計年度と2021会計年度(6月期)(単位:千米ドル)

会計年度累計	2020年6月	2021年6月
収入		
会費	\$82,205	\$81,794
投資純益	3,135	2,989
支援業務とその他の活動	19,765	20,894
収入合計	\$105,105	\$105,677
支出		
運営費	\$79,095	\$67,378
支援業務とその他の活動	18,326	26,174
戦略的準備金	1,352	1,794
支出合計	\$98,773	\$95,346
為替差益(損)	\$(2,432)	\$315
純資産の増減	\$3,900	\$10,873
純資産(期首)	\$145,864	\$149,764
純資産(期末)	\$149,764	\$160,637

**ロータリー財団
収支報告**

2020会計年度と2021会計年度(6月期)(単位:千米ドル)

会計年度累計	2020年6月	2021年6月
収入		
寄付 ²	\$338,751	\$354,750
投資純益	4,458	182,304
配当分割型寄付同意とその他の活動 (純額)	(343)	8,231
収入合計	\$342,866	\$545,285
支出		
プログラム補助金	\$307,090	\$332,792
プログラム運営費	20,581	19,543
寄付推進	19,265	18,050
一般管理運営	14,597	13,254
支出合計	\$361,533	\$383,639
為替差益(損)	\$(2,651)	\$3,342
暫約未収入のための予備費	\$(2,375)	\$(1,259)
純資産の増減	\$(23,693)	\$163,729
純資産(期首)	\$1,150,275	\$1,126,582
純資産(期末)	\$1,126,582	\$1,290,311

1. 返金その他調整後
2. 新たな暫約6940万ドル、およびポリオプラス基金への繰入金1670万ドルは含まれない

アーチ・クラフ・ソサエティ

財団プラチナサークル

(10,000,000ドル以上のご寄付)

Everett and Ellen Mayhood, Canada

管理委員会プラチナサークル

(2,500,000～4,999,999ドルのご寄付)

Carlos and Martha Sandoval, Mexico

財団サークル

(1,000,000～2,499,999ドルのご寄付)

Dee and Sue Boswell, United States

Jayne B. Garfinkel and Monica Sampaio e Silva,
Brazil

Marlowe A. and Gloria Mogul, United States

Dahyabhai S. and Angela J. Patel, United States

John “Randy” and Carol Ann Roberts, United States

管理委員長サークル

(500,000～999,999ドルのご寄付)

匿名(2名)

George L. and Patricia Cassat, United States

Sônia Maria das Neves Fernandes, Brazil

George W. and Ruth Frejd, United States

Judy Huang and Ricardo Lynn, Taiwan

James M. and Carmen Hughes, United States

Vinay and Rashmi Kulkarni, India

Suzanne Linford, United States

Nicholas P. and Ernestine T. Luise, United States

J.C. and Pam McKenzie, United States

Elaine Gertrude Nagy, Australia

Suresh Kumar and Kiran Poddar, India

Saif and Rauzat Qureishi, India

Berniece M. Simmons, United States

Richard C. Storre, United States

Jafer and Banoo Jafer Sura, United Arab Emirates

Yang Jeong Boon and Oh Jeong Taek, Korea

Johnny Gaw Yu and Veronica Yu, Philippines

管理委員会サークル

(250,000～499,999ドルのご寄付)

匿名(13名)

Ambalavanan M and Geetharani A, India

Helge Andersen, Denmark

Kelly C. and Penny T. Atkinson, United States

Bhanendra and Amita Bagda, Kenya

Lars Borgestrang, Norway

Garry Browne AM and Robyn Browne, Australia

Chang Mei-Jen, Taiwan

Case, Chen Chang and Chao Ti Lin, Taiwan

Chen Chin-Keng and Wang Ying-Hui, Taiwan

Chen Tung-Chu and Lin Li-O, Taiwan

Chi-Hua Cheng and Ying-Tzu Tsai, Taiwan

Fong Mu Cheng and Shu Mei Wang, Taiwan

Lawrence Cohen, United States

Lawrence A. and Rosemary P. Coulson, United States

Paul Dain, United States

Mike and Sheila Deputy, United States

Ajay and Rooma Dubey, India

Tom and Jill Duerig, United States

Heinz and Jacqueline Eberhard, Switzerland

İlter and Suzan Ergürbüz, Turkey

Fan, Ine-Chiong, Taiwan

R. Mark and Kit Fields, United States

福原有一・恵子(日本)

Archie Francisco F and Rozanne C Gamboa,
Philippines

Abdullahi and Hafsat Umar Ganduje, Nigeria

David Gibson Moore, United Arab Emirates

Rob and Mary Gooze, United States

Bob and Kathy Gravino, United States

Khandkar Shafiqul Haque, Bangladesh

Mituli Mahbub Hossain and Akhtar Hossain,
Bangladesh

Bong-Chun Hwang and Bok Ja Jung, Korea

Richard Illgen and Irene Rosenfeld, United States

Daniel W. Jaech, United States

Fauzia and Mohsin Jaffer, United States

Kanan and Nikunj Jhaveri, India

Jhinsup Jhung and Mina Park, Korea

Greg and Brenda Jones, United States

Namgyu Kim and Hyejung Park, Korea

Jin Wook Kim and Hee Jeong Park, Korea

Ho Sang Kim and Young Sun Kim, Korea

Joon Tack, Kim and Ok Yeop, Choo, Korea

Kwang Kyoo Kim and Chun Ja Jun, Korea

Eric Munene Kimani and Margaret Munene, Kenya

Gweon Jin Ko and Ie Ok Kim, Korea

Lindsey Kroll and Irene Hickey, United States

Ku, Kyo Un and Jeong, Hwa Ja, Korea

Yvonne Kumoji-Darko, Ghana

Hans-Jürgen and Sabine Leuchs, Germany

Kari Aarno Autero Liskola, Finland

Liu Li-Hsiu and Lai Jen-Tsung, Taiwan

Ashok and Sushila Mahansaria, India

Victor and Thelma Maris, Canada

Greg Marlow, Australia

Mike and Sherry McCullough, United States

Ashok Mehra and Bindu Mehra, India

Bhavani Pattani Mehta and Narendrakumar S. Mehta,
India

Nitinratilal and Harsha Nitin Mehta, India

Rajamohan Munisamy and Leonica Gulane Brocal,
Singapore

Tipu Munshi and Irena Malabika Munshi, Bangladesh

PNB Murugadoss and Devi Murugadoss, India

Tankaraju Muthusamy and Medlin Kolandasamy,
Malaysia

Byung Soo Park and Geum-Ji Lee, Korea

Seung-Hyun Park and Young Kim, Korea

Del W. and Roxanne E. Paterson, Canada

Indrani and D R Patnaik, India

Asha and Ramesh Poddar, India

Vasanth Prabhu, United States

Ravi and Vanathy Ravindran, Sri Lanka

William L. and Linda K. Richter, United States

Don and Ann Riddell, United States

Maria Vital da Rocha and Agerson Tabosa Pinto,
Brazil

Dilara and Muhammad Ajaz Saya, Pakistan

Ila and Vinod Shah, United States

Shen Wen-Chen and Shen, Kang Mei-Hua, Taiwan

Sabi and Indira Singh, United States

Pierce Whitman Smith, United States

Thomas J and Paula J Smith, United States

Gowri Srinivas and Srinivas T., United States

Don and Leslie Stiles, United States

Ralph and Gerri Templeton, United States

Watson and Maely Travassos, Brazil

S V Veerramani and Radha, India

Wallace Weldon and Socorro Guzman Wade,
United States

Vuttichai and Phorntip Wanglee, Thailand

David T. Wolcott, United States

Patsy and Bill Wolff, United States

吉田雅俊・麻耶(日本)

Yu Chung-Te and You Chen Feng-Chiao, Taiwan

Sung Min Yun and Mi Sun Kang, Korea

アーチ・クラフ・ソサエティ 名誉サークル

(25万ドル以上を寄付した現ソサエティ会員
によって指定された個人)

Judy Chang, Taiwan

Honored by Amy Su-Mei Chang Chen and
Chiu-Ching Chang

Lioh Chin Bok, Malaysia

Honored by Lioh Cheng Lim and Yea Bee Hong

レガシー・ソサエティ

ロータリー財団管理委員会は、財団への100万ドル以上の寄付を誓約した人を称えることを目的としたレガシー・ソサエティの導入を全会一致で承認しました。このリストには、2020-21年度に寄付の意向を表明した方々が含まれます。管理委員会は、個人の遺産計画にロータリーを含め、財団支援の模範を示していただいた方々に感謝いたします。

2020-21年度の新規レガシー・ソサエティ会員（敬称略）

(1,000,000ドル以上のご誓約)

匿名(4名)

Lars Borgestrand, Norway
Andrea and Herbert Ederer, Austria
Nick and Sue Gidney, England
Linda and Peter Jeschofnig, United States
D. Keith Key, United States
Ronald Lynde and Neva Lynde, United States
Becky L. and Charles E. Mason, Jr., United States
Jane Pennington, Australia
Shelby Rhodes and Mark Hartmann, United States
Terry and Mark Stracke, United States
Joseph J. and Patricia Wolfe, United States

2021年6月30日現在

ロータリーのパートナー

ポリオ根絶活動のパートナー

国際ロータリーは、以下の組織とともに、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)で中心的役割を担っています。

- 世界保健機関(WHO)
- UNICEF(国連児童基金)
- 米国疾病対策センター(CDC)
- ビル&メリンダ・ゲイツ財団
- Gaviワクチンアライアンス
- ドナー国政府

プロジェクトのパートナー

- シェルターボックス

奉仕のパートナー

- アショカ
- ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナル
- 国境なき調停者団
- 米国平和部隊

戦略パートナー

- 教育のためのグローバルパートナーシップ
- 経済平和研究所
- エレノア・クルック財団/Power of Nutrition
- 米国国際開発庁

サポーター

- Blane Foundation
- DollarDays
- Fondation Coup de Coeur
- Giantmicrobes
- グローバル連携省(カナダ)
- Goodeve Foundation



国連

- 国際ロータリーは、世界の13の首都で、主要な国連機関や政府間組織と協力する代表者を任命しています。